

# 令和5年度事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

公益財団法人致道博物館

## 概　　況

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類となり、感染対策が緩和され、マスクの着用も自己判断となった。完全に感染拡大が収まったとはいえないものの、「ウィズコロナ」の時代へ移行したと思われる。このような状況下での事業実施を下記のとおり報告する。

公益目的事業1の重点事業(1)重要文化財旧西田川郡役所の公開に向け、令和5年12月から令和6年1月末日まで「再始動プロジェクト」と称したクラウドファンディングを実施し、日本全国から15,725,000円の寄付金申し込みをいただいた。本プロジェクトは旧西田川郡役所の大時計修理、ドールハウスやミニチュア洋食器の常設、考古資料の再展示を目的とし、令和6年2月から事業を実施し、4月下旬に支援者及び関係者向け内覧会を経て公開予定。重点事業(2)鶴岡市補助金による「鶴岡市文化資源調査保存事業」として「御世紀付録」の翻刻刊行や古文書の整理を行った。(3)酒井家入部400年記念アフター事業へ協力した。また、NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送にあわせて、関連イベントや展覧会(公益目的事業2も含む)を実施した。保存管理事業では、例年同様に重要文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、名勝酒井氏庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪廻いなどを行い、状況に応じて博物館資料の適正な保存管理に努めた。また、教育普及事業では、本年度も合同茶会を中止したものの、3月は昨年から再開した東京友の会の集いを行い、75名の参加をいただいた。土曜講座や古文書講習会等を開催し延べ520名が参加受講した。

公益目的事業2の展示事業では、企画展9件(山形県・公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催)、グループ展1件、ロビー展3件の展覧会を実施した。併せてギャラリートークや講演会、制作実演なども実施した。特に4月～6月の「徳川家康と酒井忠次」、9月～11月の「日本刀物語～変遷と魅力～」の特別展には多くの入館者があった。主な展覧会の入館者数は4～6月の「徳川家康と酒井忠次」展7,543名(171名/日)、6～7月「商家に伝わる名品～鶴岡・三井家の書画と工芸～」4,437名(96名/日)、8～9月「洋画家・三浦恒棋展」6,389名(133名/日)、9～11月「日本刀物語～変遷と魅力～」9,667名(210名/日)、11～12月の「彫刻の人・野尻佐太右衛門」3,468名(77名/日)であった。10月には刀剣乱舞ONLINEとのコラボ企画や市内の飲食店・菓子店の協力を得て「鶴岡名物帳」イベントなども行った。令和5年度の入館者総数が39,365名(前年比約104%、前々年比約142%)となった。

公益目的事業3は鶴岡市から指定管理者の指定を受けた保存活用事業で、国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)、及び大宝館の施設保存管理、展示、普及教育事業等を実施した。旧致道館では教育体験講座をはじめ、致道館文化振興会議と共に第2回「論語素読検定」を実施、また学校の課外授業等で14件512名の施設利用があった。大宝館では企画展「中田喜直生誕100年記念～音楽のまち 鶴岡～」や関連夏休みイベント等を実施し好評を博した。また、広報活動として日々情報発信を行っている。

今年も鶴岡市民や関係する各位から美術品等の寄贈申込を受けた。深謝申し上げるとともに、今後の展覧会で随時公開ていきたい。

最後に、令和5年6月の評議員会を経て、酒井忠久氏が代表理事・館長を退任し、顧問・名誉館長に就任。また、酒井天美氏が理事を退任し、顧問に就任した。副館長の酒井忠順氏が代表理事・館長に就任。また、酒井忠久名誉館長は令和6年1月の宮中歌会始において「読師」をつとめられ、同年3月に鶴岡市の名誉市民に推戴された。

### 1. 公益目的事業1 (事業の内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業)

#### 1-1 重点事業

##### (1) 重要文化財旧西田川郡役所の震災復旧工事終了後の再公開

令和元年6月の山形県沖地震(市街地:震度5弱)による重要文化財旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)を翌2年4月から同4年5月末まで国庫補助事業として実施。昨年12月から今年1月末日まで「致道博物館再始動プロジェクト」と冠したクラウドファンディングに挑戦し、15,725,000円の寄付金申し込みをいただいた。本プロジェクトでは旧西田川郡役所の大時計交換修理、従前の1階の考古資料の常設展示ケースを解体し、新たに礪貝吉紀ドールハウス作品を常設展示予定。また、郡長室に川内由美子氏寄贈によるミニチュア洋食器コレクションの展示、2階には考古資料の再展示を目的とし、2月上旬から作業を開始し、公開に向けて準備を進めている。

## (2) 鶴岡市文化資源調査事業

「御世紀付録」及び酒井家系図等のデータ入力、編集・校正作業を行い、今春3月末に出版した。また、「酒井家文書」や所蔵文書の整理・撮影を行い、データ化を進めた。鶴岡市費補助事業として実施。

## (3) 酒井家庄内入部400年記念事業

昨年度は鶴岡市を主体とした酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会と共同し、特別展など各種の事業を実施した。今年度は引き続きNEXT100事業として、歴史講座「家康と忠次が生きた時代-危機を乗り越えた先に-」(平山優・柴裕之両氏による講演会)の実施に協力した。また、「致道アカデミー(高校生学芸員体験)」と称した講座を開設し、地元高校生の参加が見られた。なお、大河ドラマ「どうする家康」が放送されたことなどが話題を呼び関連イベントや展覧会(公益目的事業2も含む)を実施した。

## 1-2 保存管理事業

### (1) 指定文化財の保存管理事業

#### ①重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・同旧渋谷家住宅・同旧鶴岡警察署庁舎の防災設備(自動火災報知設備・消火設備・避雷設備)、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

#### ②名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

#### ③国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

#### ④史跡松ヶ岡開墾場内一番蚕室(松ヶ岡開墾記念館)の管理運営(入館者対応・建物内清掃業務等)につき鶴岡市教育委員会より委託を受け、通年で開館した(入館者状況は別紙資料を参照)。

### (2) 博物館資料の保存管理事業

#### ①歴史的建造物等の保存管理

御隱殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

#### ②博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装・冊子資料の補修・修理、手入れなどを実施した。また、寄贈の申し込みがあった資料や作品について適正な受け入れと資料台帳の整備を進めた。

#### ③松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の松ヶ岡開墾記念館の資料収蔵や展示に協力した。

## 1-3 展示事業

### (1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料及び美術工芸品の一部を展示替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

## 1-4 教育普及事業

### (1) 講演会・講座事業 他

#### ①公開講演会(日時・場所・内容)

令和6年3月2日(土) 致道博物館・東京友の会の集い 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)  
講演会「酒井家入部四百年-次の百年を見据えて」 講師 酒井忠久氏(当館名誉館長) 参加者 75名

#### ②土曜講座(日時・講師・演題)

7月1日(土) 金森敦子氏(歴史家) 「関所抜け～旅する女たちの大冒険」	参加者 62名
9月23日(土) 阿部宇洋氏(山形大学講師) 「庄内の民俗(民間)信仰の再発見」	参加者 35名
11月11日(土) 加藤千明氏(元山形美術館館長) 「山形の彫刻家たち」	参加者 38名

#### ③中国古典講座

4月～12月の毎月7日 計8回開催予定であったが、開催を中止した。

#### ④古文書講座「もんじよ部」

日時 5月～翌年3月まで月1～2回開催 計15回  
内容 『出羽庄内酒井家文書目録』所収の古文書をテキストに古文書の読み方の解説や輪読、また当館所蔵文書の整理を行った。 講師 菅原義勝主任学芸員 受講生6名 延出席人数75名

#### ⑤その他 館報「致道」61号(5,000部／令和6年2月発行)

### (2) 伝統文化普及事業

① 各流合同茶会は今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

#### ② 少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共催)

5月27日～8月5日にかけて計15回 6月・7月の土曜朝 8:00～8:40、 8月初め夏休み6日間早朝5:40～6:20 15回開催 『論語抄』の素読 6/25 史跡文化財巡り(松山城大手門・松山文化伝承館・森林学習館、山居倉庫)  
講師 水野貞吉氏・三矢正士氏・加藤徹三氏・富樫恒文氏・酒井英一氏・本間豊学芸部長  
受講者 12名(小学1年生～同6年とその父母等) 延出席人数120名

#### ③ 「令和5年度東北文化の日推進事業」の参加(事務局 山形県県民文化スポーツ課内)

「東北文化の日」(10月最終の土・日曜日)に合わせ、10月30日～11月末日の土・日曜日の小中学生の入館料を無料とした。 参加数 計153名

④ 刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)及び庄内民俗学会の例会、及び姉様人形教室(庄内姉様人形保存会主催)の会場として会議室等を提供(4月～3月)。

### (3) 教育啓蒙事業

① ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月以降に再開 計6名 延活動日数69日

② 博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 7月29日～8月3日

実習生／東北芸術工科大学・明治大学・富山大学の大学生 計5名

実習内容／美術工芸品(掛軸・巻物・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、古文書資料の整理と保存、拓本技法、美術展の企画と著作権、近隣文化施設見学等

③ 先賢を偲ぶ会 令和6年2月18日(日) 於:旧鶴岡警察署庁舎1階ホール

旧鶴岡警察署庁舎1階ホールにて、祭壇を設け礼拝・講話(酒井忠久名誉館長「令和6年宮中歌会始め」)を行ったが、直会は中止した。

④ 東京友の会の集い 令和6年3月2日(土) 於:タワー・ホール船堀(東京都江戸川区)にて開催(前出)。

- ⑤ 博物館資料や郷土史関係等の相談助言（通年）相談件数約 50 件  
 相談内容／書跡・古文書の解読や酒井家文書及び刀剣の保存などに関すること
- ⑥ 庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学術学会の活動に協力
- ⑦ 広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙や各種事業の実施にあたっては、新聞・テレビ・地域情報誌などの報道機関や鶴岡市広報などに情報提供を行い、取材協力依頼に努めた。また、類似施設や市内各所へ広報印刷物を送付し、広報の協力を依頼した。新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った。特に SNS を利用し、各種情報発信とともに、館の魅力を伝えることに努めた。

## 1-5 調査研究事業

- (1) 文化資源調査事業(前出)
- (2) 庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理
- (3) 山形県の養蚕資料の整理

## 2. 公益目的事業2 (事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業)

### 2-1 展示事業

- (1)企画特別展示事業(主催事業) 於:美術展覧会場・旧鶴岡警察署ホール  
 ☆印:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催、△印:日本美術刀剣保存協会庄内支部共催  
 ①☆花鳥風月 令和 5 年 4 月 1 日～4 月 26 日(26 日間)  
 入場者数:一般 2,030 名／学生 178 名／小中生 42 名 合計 2,250 名  
 時に美しく、時に厳しく、四季折々の表情をみせる日本の風土。移りゆく自然美は、今も昔も画家たちを魅了している。日本では、古くからさまざまなかたちで自然美が表現されてきた。本展では「花鳥風月」をキーワードに、館所蔵の花鳥画・風景画を中心に紹介。斎藤墨湖・根上富治・真嶋北光など庄内ゆかりの画家の作品をはじめ、渡辺華山・長沢芦雪・堂本印象など全国的に有名な画人の作品、計 31 点を紹介した。
- ②☆時を刻む-酒井家庄内入部 401 年特別展 「徳川家康と酒井忠次」 4 月 29 日～6 月 12 日(44 日間)  
 入場者数: 一般 6,685 名／学生 306 名／小中生 552 名 合計 7,543 名  
 三河武士を率いて戦国大名へと成長し、やがて全国統一を果たす徳川家康。家康を徳川家第一の重臣として支え続けた酒井忠次。2人が歩んだ道程を古文書や歴史資料、伝来の美術工芸品から辿る。酒井忠次が織田信長や徳川家康から拝領した国宝の太刀 2 振、重文の忠次所用色々威胴丸など美術工芸品や古文書や歴史資料計 66 点を出品。期間中、平野明夫氏の記念講演会やギャラリートークを開催した。
- ③☆商家に伝わる名品 -鶴岡三井家の書画と工芸- 6 月 15 日～7 月 30 日(46 日間)  
 入場者数: 一般 4,261 名／学生 67 名／小中生 109 名 合計 4,437 名  
 鶴岡の旧家・三井弥惣右衛門家に伝來した書画・美術工芸品を展示。江戸時代から明治時代にかけての狩野洞雲や永真などの狩野派から高久靄崖や田能村直入らの南画、貫名海屋、副島種臣の書跡、中国の白磁茶碗や漆工品などの資料 50 点を出品した。期間中、江戸時代に江戸を経由し伊勢参りを行った先祖・三井きよのの道中記に関する歴史家・金森敦子氏講演会や、ギャラリートーク等を実施した。
- ④☆洋画家 三浦恒棋 《前期》原爆の形象 《後期》庄内の憧憬 8 月 2 日～9 月 18 日(48 日間)  
 入場者数: 一般 5,724 名／学生 336 名／小中生 329 名 合計 6,389 名  
 三浦恒棋氏(1930～)は、15 歳の時に広島で被爆し、両親の郷里である鶴岡に帰郷。核廃絶を訴え続けるため「原爆の形象」の制作に取り組み、90 歳を超えた今なお描き続ける。本展は、75 年におよぶ全画業を前期の第1部「原爆の形象」と後期の第2部「庄内の憧憬」に分けての自選回顧展として開催し、119 点を出品。  
 また期間中、ギャラリートークやミニコンサートを開催した。

⑤☆◇日本刀物語 -変遷と魅力- 9月21日～11月5日(46日間)

入場者数:一般 8,482名／学生 569名／小中生 616名 合計 9,667名  
出土した古代の直刀。「五箇伝」を中心に平安時代後期から江戸時代初期にかけて作刀され、地域や時代による特色が魅力の「古刀」。その後、江戸・大坂・京で多く作刀された「新刀」。幕末の復古調「新々刀」。今に伝わる刀剣や刀装具から、その変遷を辿る。主な出品に重文「短刀銘吉光」や重美「刀銘越前康継」ほか、様々な伝承を持つ刀剣も合わせ 31 口の刀剣と甲冑を含む関連資料 14 点出品した。期間中に「刀剣乱舞 ONLINE」とのコラボイベントやギャラリートーク、刀剣銘切り実演も実施した。

⑥☆彫刻の人 野尻佐太右衛門 11月8日～12月25日(45日間)

入場者数:一般 2,931名／学生 92名／小中生 445名 合計 3,468名  
旧温海町越沢生まれ(1925～2020)。鶴岡市職員や警視庁巡査になるも、彫刻の道を志して東京藝術大学美術学部へ入学、石井鶴三の薰陶を受けた。太平洋美術会に所属。「精神の自由」を立体表現に求め、作品制作に挑み続けた。一昨年秋に遺族から寄贈を受けた彫刻や油絵の作品 22 点を中心に 52 点を出品した。期間中に記念講演会やギャラリートークを開催した。

⑦☆ 新収蔵品展～何コレ!?～ 令和6年1月26日～3月11日(41日間)

入場者数:一般 2,133名／学生 139名／小中生 93名 合計 2,365名  
近年寄贈された考古資料・民俗資料・美術工芸品の中から、奇抜な形や意表を突く表現など、「何コレ!?」と思えるコレクションを「冬の必需品何コレ」、「おいしい庄内米どころ何コレ」から「探検何コレ」とコーナー別にピックアップし、計 57 点出品した。現代では思いつかない用途、大らかで自由な表現、無限の想像力、昔のモノの面白さや奥深さを紹介した。期間中、ギャラリートークを実施した。

⑧☆ 第30回 鶴岡雛物語 3月1日～4月3日(34日間)

入場者数:一般 2,923名／学生 141名／小中生 124名 合計 3,188名  
旧庄内藩主酒井家伝来品や市内旧家より寄贈された江戸時代中期から明治時代にかけての雛人形や、大名家へのお輿入れに持参した雛道具を出品。また第 30 回記念展特別出品として「極小雛道具 川内由美子コレクション精選 大名家の嗜み」を展観。併せて鶴岡市内の菓子店の協力による鶴岡伝統お雛菓子も一堂に展示した。期間中、記念講演会やギャラリートーク、雛菓子づくりなどのイベントを実施した。

⑨☆歴史の扉5 庄内藩と飛島 3月14日～3月31日(17日間:展示は4/23までの継続事業)

入場者数:一般 1,816名／学生 68名／小中生 87名 合計 1,971名  
山形県で唯一の有人島である飛島には、特色ある文化や歴史がみられる。江戸時代には、北前船の補助港や避難港として一つの拠点となり、漁村として豊富な海産物を得ていた。本展では、「I.飛島について」「II.庄内藩と飛島」「III.飛島三ヶ村の境目論争」「IV.飛島の暮らし」「V.テキ穴(飛島洞窟)」をテーマに、飛島の生活文化や島内で起きた訴訟の様子などが窺える民俗資料や古文書計 53 点を出品した。

(2)個展・グループ展示事業 於:美術展覧会場

①第44回 鶴岡書道会会員展 令和6年1月5日～1月22日(12日間)

入場者数:一般 380名／学生 8名／小中生 9名 合計 397名  
昭和 8 年に設立された鶴岡市にあり流派を越えて活動する書道団体。会員の作品 27 点を展示鑑賞した。

(3)旧鶴岡警察署庁舎1階展示事業 ※主催は各団体／共催:致道博物館／於:旧鶴岡警察署庁舎ホール

①鶴岡市・にかほ市・由利本荘市3市連携交流企画展「北前船」

4月1日～4月9日(9日間) ※展示は2月11日～4月9日までの継続事業

入場者数:一般 659名／学生 126名／小中生 32名 合計 817名

※2/11～4/9まで入館者数 一般 4,257名／学生 345名／小中生 159名 合計 4,761名

日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間—北前船寄港地・船主集落—」関連の展覧会(共催:鶴岡市北前船日本遺産推進協議会/協力:秋田県にかほ市教育委員会・秋田県由利本荘市教育委員会)。

越前瓦・船箪笥・船往来手形・船絵馬・アットウシなど計 20 点出品。

## ②第 16 回「砂の会」作品展

11月3日～11月6日(4日間)

入場者数:一般 1,265名／学生:84名／小中生 87名 合計 1,436名

加藤景一氏が主宰する「砂の会」会員 3 名が制作した作品計 30 点を展示、砂を素材にした砂絵や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。

## ③第 17 回 東洋蘭展(鶴岡東洋蘭同好会と共催)

令和 6 年 3 月 15 日～3 月 18 日(4 日間)

入場者数:一般 468名／学生:19名／小中生 11名 合計 498名

日本春蘭と中国春蘭あわせて約 100 鉢を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

## 2-2 教育普及事業

### (1) 講演会・講座事業

記念講演会・企画特別展のギャラリートーク・ワークショップ・制作実演

4月30日(土) 記念講演会「酒井家の歴史と徳川家康」講師:平野明夫氏(國學院大學専任講師)

於:莊内銀行 本店ホール 参加者 140名

5月20日(土)／6月10日(土) 「徳川家康と酒井忠次」展ギャラリートーク 解説:菅原義勝主任学芸員

2回の参加者計 76名

6月18日(日)／7月15日(土) 「商家に伝わる名品～鶴岡三井家の書画と工芸」展ギャラリートーク

解説:本間豊学芸部長・山口博之山形県城郭研究会会長 2回の参加者計 40名

8月5日(日)／20日(土) 「洋画家 三浦恒棋展」アーティストトーク 解説:三浦恒棋氏 2回の参加者計 85名

8月14日(月)／9月17日(土) 「洋画家 三浦恒棋展」ミニコンサート 絵画と音楽の調和

ピアノ演奏者:滝沢佳奈子氏 2回の参加者計 150名

9月24日(日)／11月3日(土) 「日本刀物語」展 ギャラリートーク 於:展示会場

解説:本間豊学芸部長 2回の参加者計 50名

10月14日(土)／15日(日)／11月5日(日) 「日本刀物語」展上林恒平刀匠による「銘切り」制作実演

10月21日(土) 「日本刀物語」展-コラボイベント おつきいこんのすけ撮影会

於:旧鶴岡警察署庁舎1階 参加者 100名

10月29日(日) 「日本刀物語」展-「はじめての刀剣講座～触って聞いて、見る体験～」

講師:矢口秀春氏(日本美術刀剣保存協会庄内支部 副支部長)

於: 旧鶴岡警察署庁舎一階ホール 参加者計 22名

11月25日(土)／12月9日(土) 「彫刻の人 野尻佐太右衛門」ギャラリートーク 於:展示場

解説:佐藤淳主任学芸員 計 2回の参加者 18名

2月10日(土)／2月23日(土) 「新収蔵品展 何コレ!?」ギャラリートーク 本間豊学芸部長

於:展示場 参加者 2回計 35名

3月1日(金) 「第 30 回鶴岡雛物語」展のスペシャルトーク 講師:川内由美子氏(極小雛研究家)

参加者 30名

3月3日(日)/3月24日(日) 「第30回鶴岡雑物語」展の雛菓子作り体験 講師:住吉屋菓子舗  
於:御隱殿 2回の参加者計55名

3月9日(土)~10日(日) 「第30回 鶴岡雑物語」展イベント へんしんおひなさま(雛衣装の着付け親子イベント)  
於:御隱殿 参加者計23名

3月18日(土) 「第30回 鶴岡雑物語」展のギャラリートーク 解説:佐藤 淳主任学芸員  
於:御隱殿 参加者計36名

※日本美術刀剣保存協会庄内支部との共催事業として

10月23日(日) 於:旧鶴岡警察署庁舎 清人碑前祭 祭礼ほか 参加者 計25名

## (2)出版事業

各展覧会図録・解説書(「徳川家康と酒井忠次」・「商家に伝わる名品～鶴岡三井家の書画と工芸～」・「洋画家・三浦恒棋」・「日本刀物語～変遷と魅力～」・「彫刻の人 野尻佐太右衛門」と出品目録・リーフレット・ポスター・ポストカード等

## (3)広報事業

広報活動 企画展の広報活動

各種事業については新聞・テレビ・地域情報誌などの報道機関や鶴岡市広報へ資料提供や取材協力依頼に努め、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット(ホームページ・SNS)などを活用して周知を図った。

## 3. 公益目的事業3 (事業内容～国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)や鶴岡市指定文化財大宝館の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業)

### 3-1 史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存管理活用事業

指定管理制度により、鶴岡市教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

#### (1)施設保存管理事業

##### ①外構管理

除草・清掃、芝刈り、生垣の剪定、樹木の剪定・整枝・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の清掃を行った。

##### ②建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常点検・清掃、防災設備(自動火災報知器・消火器)の保守点検を実施した。平成25年度から夜間及び休館日の防犯等は、警備保障会社へ委託して行っている。消防訓練は1回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。利用者の安全・安心を確保するために「旧致道館危機管理マニュアル」の徹底を図った。聖廟西側の冬囲い(タキロン製)が劣化したため更新した。

#### (2)展示事業

- ①藩校致道館の沿革・教育精神・学校制度・釈奠・施設などに関する史料を展示、隨時キャプションの改訂を行った。
- ②御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語の素読」をBGMで流し、床の間には致道博物館所蔵の致道館関係遺墨の掛軸を3ヶ月毎に展示替えした。
- ③御台子之間に「藩政時代をたどる～入部から幕末まで～」を展示した。

### (3) 普及教育事業

#### ① 藩校致道館教育体験教室・講座

7月29日(日)、7月30日(日)

「江戸時代の学校『致道館』の学びを体験しよう！」をテーマに、小学生から一般を対象にした  
「庄内論語素読体験講座」を開催した。(参加者24名)

#### ② 「論語素読検定」の実施 (致道館文化振興会議と共に)

8月6日(日) (参加者27名 合格者:上級9名 中級8名 初級10名)

#### ③ 「孔子祭・致道館の日」式典 (主催:致道館文化振興会議)

9月30日(土) 於:藩校致道館 御入之間

内容／祭典・祝文奉読・論語素読・講経、講演、児童生徒論語体験作文発表会

#### ④ 研修会・講座(主催・各種団体)

##### 【研修会等】岡市採用新採職員研修／新規採用教員初任者研修

慶應義塾大学鶴岡キャンパス「鶴岡文化論」／鶴岡市観光ボランティアガイド協議会 他 計21件

##### 【修学旅行等】

川西町立小松小学校6年生／大江町立本郷東小学校6年生／仙台市立南光台中学校2年生 他  
(致道館学習と論語素読) 計9件

##### 【視 察】

台湾台南市政府参訪団同議会参訪団／文化庁日本遺産現地調査／厚生労働省 他 計4件

##### 【致道館の学習・庄内論語の素読実施校】(鶴岡市内小・中学校)

鶴岡市立朝暉第一小学校3年生／鶴岡市立朝暉第二小学校6年生 他

〔講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 小学校12校13学年 中学校1校 計512名〕

※ 鶴岡市三瀬保育園 年長組「庄内論語の素読」4月～3月 年間12回

#### ⑤ 朝暉第三小学校 「日本文化伝統クラブ」庄内論語の素読 講師

#### ⑥ 山形大学農学部 「地域から学ぶ…致道館の教育精神と学びの継承…」講師

#### ⑦ 旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』を多く頒布した。

#### ⑧ 広報活動…新聞・テレビ等の報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に対応した。

## 3-2 大宝館の保存管理活用事業

指定管理者制度により鶴岡市教育委員会と契約を結び、管理運営受託法人として大宝館の管理運営を行い、市の有形文化財の保存活用を図った。

### (1)施設保存管理事業

#### ① 外構管理

建物(玄関)周囲の除草・玄関脇と県道沿いの「大宝館説明板」の清掃・建物周辺の除雪

#### ② 建造物並びに館内管理

・建物周囲点検、高山櫻牛誕生の間、横光利一と千代の部屋、中田喜直ピアノ日常清掃、バルコニー除雪  
荒天による建物の影響を確認、報告。防災設備(自動火災報知機・消火器)の保守点検を実施した。

・夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。

・消防訓練は1月29日に実施し、予防災害対策を確認した。

#### ③ 館内環境の衛生を保つ対応

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、規制は緩和されたが、感染症対策の教訓を生かし、館内の衛生対策を以下の通り実施した。手指消毒液の設置、館内の換気、受付カウンターや手摺等の消毒、順路パネルの設置等。

### (2)展示事業

#### ① 第46期常設展示(4月1日～令和6年3月31日)

【展示開始人物】伊藤鶴代 【展示終了人物】平田米吉

【移動展示人物】齋藤悠輔を平田米吉撤去後のブースに移動

#### ② 第46期企画展示

「中田喜直生誕100年記念～音楽のまち 鶴岡～」(4月1日～令和6年3月26日)

生誕100年にあたる作曲家・中田喜直の事績を紹介する中で「雪の降るまちを」の作曲秘話から、音楽を通じた

鶴岡市民との深い絆にスポットを当て、また、中田氏を鶴岡に招き、名曲「雪の降るまちを」作曲のきっかけを作ったと伝えられる菅原喜兵衛氏と、鶴岡土曜会混声合唱団の生みの親で、すぐれた合唱指導者である三井直氏を取り上げ、「音楽のまち・鶴岡」が形成されていく過程を人物を通じて紹介した。

③第3期横光利一展示 「『機械』のころ」

2階展示室において、横光利一が文壇で活躍した充実期で、「雨過山房」に集った作家仲間たちとの交流や、『機械』をはじめ、横光作品の装幀を多く手がけた佐野繁次郎画伯の原画をパネル化して展示し、収蔵する鶴岡アートフォーラムでの現物展示とも連携して紹介した。

④特別展示

2階北側集会室においては、「酒井忠明写真展」を、南側集会室においては継続して「庄内戊辰の役～酒井了恒率いる第2番大隊の戦い～」を展示。

(3)普及教育事業

①イベント

◇大宝館夏休みイベント◇ (8月3日(木)～8月20日(日))  
～大宝館の中と鶴岡公園を歩きながらクイズの答えを見つけよう！～

◇酒井家庄内入部400年記念事業NEXT100 ミュージアムスタンプラリー◇(9月1日～11月30日)

◇致道博物館×「刀剣乱舞-ONLINE-」コラボ企画 刀剣男士「信濃藤四郎」等身大パネル展示◇  
(9月21日～11月5日)

◇大宝館ライトアップ◇

「世界糖尿病デー ブルーライトアップ」(11月10日～17日)  
「鶴岡冬まつり 大宝館ライトアップ」(12月23日～令和6年2月28日)

②広報活動

新聞・テレビ・コミュニティ誌など報道機関への資料提供や取材協力依頼に務め、周知を図った。また、X によって、展示や館内の情報、鶴岡公園の四季の移り変わりなどをリアルタイムな情報発信を行っている。

③配布物

「第45期大宝館展示」マスコミ各社・周辺施設・デガム・旅行会社各社・コミセン・自治会・  
「大宝館夏休みイベント」鶴岡市内小学校・周辺施設・マスコミ各社

④解説業務

来館者の要請に応じて、施設の由来や館内のご案内、企画展などの解説を中心に行った。

修学旅行や校外学習の際は、口頭での解説を補完する情報伝達手段として、学年別に理解の段階を考慮した資料を作成したものを配布するように工夫した。また、周辺の観光情報や食事処・交通機関等について適切な資料を作成して館内に掲示し、お客様が情報を検索しやすい工夫を行っている。

⑤その他 人物調査、関連人物情報のスクラップ

常設展示の候補人物や、年度毎の企画展示のテーマや人物に関して、インターネットや新聞記事、『庄内人名辞典』や書籍等によって情報収集を行っている。

**4. 収益事業1 (事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売)**

**4-1 収益事業**

(1)博物館関連商品販売等事業

「日本刀物語展」では新たにクリアファイルをはじめ、トート&巾着セット、マグネット、プリントクリッキー等様々なオリジナルコラボグッズを制作し販売。コラボ期間中の早い段階で完売する商品もあり大変好評だった。

(2)その他

新年度に向けて、2月中旬より受付・売店スペースと隣のインフォメーションスペースの改装工事を行った。3月には新しいレジスター2台とキャシュレス決済端末機2台を導入。入館料についても来館者の現金以外の支払方法の幅広いニーズに柔軟に対応できるようになった。

# 庶務の概要

令和6年3月31日現在

## 1. 役員に関する事項

五十音順・敬称略

役職名	氏名	備考	役職名	氏名	備考
(理 事 8名)			評議員	菅野 滋	(公財)山形美術館 館長
代表理事	酒井 忠順	(公財)致道博物館 館長	〃	布川 敦	鶴岡市教育委員会 教育長
理事	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会 会長	〃	橋本 政之	致道館文化振興会議 会長
〃	伊藤 彰	(公財)東北振興研修所 理事長	〃	堀 誠	松ヶ岡開墾場 理事長
〃	國井 美保	NPO公益のふるさと創り鶴岡 代表理事	〃	本間 謙三	(公財)本間美術館 代表理事
〃	田中 章夫	(公財)本間美術館 館長	〃	皆川 陽	庄内銀行 取締役監査等委員
〃	沼沢 紀惠	鶴岡市教育委員会社会教育課 課長	〃	渡邊 晃	山形県立博物館 館長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会 会長	(監 事 2名)		
〃	本間 豊	(公財)致道博物館 学芸部長	監 事	氏家 昇一	松岡(株) 代表取締役会長
(評議員 15名)			〃	本間 厚	税理士
評議員	石原 純一	鶴岡観光協会 会長	(顧 問 5名)		
〃	上野 隆一	出羽商工会 会長	名譽館長	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会 会長
〃	遠田 達浩	田川地区高等学校長会 代表 (鶴岡南高校長)	顧 問	皆川 治	鶴岡市長
〃	大沼 賀世	寒河江市文化財審議会 委員	〃	田中 尹	前鶴岡織物工業協同組合 理事長
〃	上林 恒平	刀匠・山形県指定無形文化財保持者	〃	犬塚 幹士	前鶴岡市文化財保護審議会 会長
〃	齋藤 拓	白糸社 委員長	〃	酒井 天美	前学校法人城南学園 理事長
〃	佐藤 祐司	鶴岡信用金庫 理事長			
〃	菅井 崇広	きらやか銀行鶴岡中央支店 支店長			

※参与 加藤 徹三 同 酒井 英一

## 2.役員会に関する事項

### ■理事会

開会月日	議事内容	会議の結果
令和5年6月6日	(1)令和4年度事業報告の件 (2)令和4年度収支決算の件 (3)令和4年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び 令和5年度同事業収支予算の件 (4)定時評議員会開催の日時・場所・議案承認の件 (5)任期満了に伴う理事推薦承認の件 (6)任期満了に伴う監事推薦承認の件 (7)評議員補充候補者推薦承認の件 (8)その他	可決承認 可決承認  可決承認  承認 承認 承認 承認
令和5年12月1日	(1)クラウドファンディング実施等の件（書面決議）	承認
令和6年2月5日	(1)令和5年度補正予算の件 (2)令和6年度事業計画の件 (3)令和6年度収支予算の件 (4)クラウドファンディング実施結果の件 (5)登記所備付地図作成作業成果の報告	可決承認 可決承認 可決承認 了承 了承

### ■評議員会

開会月日	議事内容	会議の結果
令和5年6月22日	(1)議事録署名人選出の件 (2)令和4年度事業報告の件 (3)令和4年度収支決算の件 (4)任期満了に伴う理事選任の件 (5)任期満了に伴う監事選任の件 (6)評議員補充選任の件 ※その他（理事会決議事項の報告） ①令和4年度国指定文化財管理費補助事業報告及び収支決算 並びに令和5年度同事業計画及び収支予算の件 ②令和4年度重文旧西田川郡役所(建物)保存修理事業(整備)報告 及び収支決算の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認  了承 了承

■執行役会議 每月1回開催（4月14日、5月9日、5月31日） 計3回

■監査 令和5年6月1日（令和4年度会計監査）

### 3.申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛 所	内 容	備 考
4月1日	山形県知事	令和5年度山形県博物館共催事業申請書	4月1日付承認
〃	〃	令和5年度山形県博物館共催事業負担金交付申請書	4月5日付候決定
〃	鶴岡市教育委員会	教育関係事業共催承認申請書(令和5年度致道博物館展示事業)	4月1日付承認
〃	鶴岡市長	令和5年度致道博物館展示事業共催負担金請求書	
〃	山形県生涯学習文化財団理事長	令和5年度文化団体等連携支援事業（展覧会事業）共催申請書	4月1日付承認
〃	〃	令和5年度博物館共催事業助成金交付申請書	4月1日付候決定
〃	鶴岡市長	令和5年度補助金等交付申請書(令和4年度鶴岡市文化資源調査保存事業)	同 上
〃	山形県知事	令和5年度国指定文化財(酒井氏庭園)管理費補助事業申請書	同 上
〃	鶴岡市長	令和5年度国指定文化財(酒井氏庭園)管理費補助事業申請書	同 上
〃	〃	普通・行政財産借受申請書 及び 財産貸付料減免申請書 (松ヶ岡開墾場4番蚕室収蔵の開墾・農業関連資料、農具等の保管)	4月1日付認可
4月18日	鶴岡市消防長	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書(消防器具)	
4月24日	鶴岡市長	令和4年度補助金保存事業実績報告書(鶴岡市文化資源調査保存事業)	4月25日付候決定通知
4月27日	山形県知事	令和4年度山形県博物館共催事業負担金実績報告書	5月29日付候額定
〃	鶴岡市長	令和4年度致道博物館展示事業報告書	
〃 3月31日付 提出	(公財)山形県生涯学習文化 財団理事長	令和4年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月31日付候額定
6月1日	山形県知事	令和5年度国指定文化財(旧西田川郡役所/旧渋谷家住宅/旧鶴岡警察署庁舎)管理費補助事業申請書	6月1日付候決定
6月1日	鶴岡市長	令和5年度国指定文化財(旧西田川郡役所/旧渋谷家住宅/旧鶴岡警察署庁舎)管理費補助事業申請書	6月1日付候決定
6月1日	山形県知事	令和5年度国指定文化財(旧西田川郡役所/旧渋谷家住宅/旧鶴岡警察署庁舎)管理費事業計画変更承認(及び補助金変更交付)申請書	6月1日付候決定
6月1日	鶴岡市長	令和5年度補助事業等変更申請(令和5年度鶴岡市指定文化財管理費補助事業(酒井氏庭園))	6月1日付候決定
6月28日	鶴岡市消防長	防火体制に関する意見書の提出(お願い)	7月3日付対
8月5日	山形県教育委員会	所在の場所変更届(「日本刀物語展」出品の県文「脇指無銘(伝義弘)、刀無銘(伝一文字)」計2件)	
8月12日	酒田市教育委員会	所在の場所変更届(「日本刀物語展」出品の市文「脇指銘安政六年清人作」1件)	

6月21日	山形県生涯学習文化財団	令和5年度文化団体等連携支援助成金請求書	
6月26日	致道博物館理事・監事	理事・監事就任のお願い及び就任承諾書他提出のお願い(任期満了)	
6月26日	致道博物館評議員	評議員就任のお願い及び就任承諾書他提出のお願い	
7月11日	鶴岡市長	令和5年度補助金等状況報告書(令和5年度鶴岡市文化資源調査保存事業-7月中旬報告)	
7月10日	鶴岡市消防長	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書（自動火災報知設備）	7月10日付受理
9月24日	山形県知事	PCB廃棄物の処分又は高濃度PCB使用製品の廃棄終了届出書	
10月2日	山形県教育委員会	令和5年度山形県国指定文化財(略)管理費補助事業の状況報告	
10月6日	鶴岡市長	令和5年度補助金等状況報告書(令和5年度鶴岡市文化資源調査保存事業-10月中旬報告)	
12月1日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請（重文旧鶴岡警察署庁舎）	12月1日付受理
12月6日	鶴岡市消防長	消防用施設等（自動火災報知設備他）点検報告書（庄内米作り収蔵庫）	12月6日付受理
12月21日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請（重文旧渋谷家住宅）	12月21日付受理
12月18日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(今年度第1回防火訓練実施計画)	12月18日付受付
12月21日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請書（重文旧渋谷家住宅内の廻廊裏で火焚き煙出し作業をするための承認申請書）	12月23日付承認
12月25日	文化庁長官	重要文化財の修理の届出（重文旧西田川郡役所大時計の修理）	
1月12日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(第70回文化財防火デー/第2回防火訓練実施計画)	
1月15日	鶴岡市長	令和5年度補助金等状況報告書(令和5年度鶴岡市文化資源調査保存事業-1月中旬報告)	
1月30日	文化庁長官	重要文化財の毀損の届出(R6.1.1発生の能登半島地震による重文旧鶴岡警察署庁舎及び同旧西田川郡役所の被害)	1月13日付受付
2月13日	鶴岡市消防長	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検報告書（動力ポンプ）	2月13日付受理
2月27日	鶴岡市長	普通・行政財産借受申請書 及び 財産貸付料減免申請書 (松ヶ岡開墾場4番蚕室収蔵の開墾・農業関連資料、農具等の保管)	
3月1日	文化庁長官	重要文化財の毀損の届出（重文旧西田川郡役所 雪害による鬼瓦の破損）	
3月1日	文化庁長官	重要文化財の修理の届出（ 同 上 ）	
3月19日	山形県知事	所有者変更届（寄贈刀剣4口）	3月26日付受理
3月22日	山形県知事	令和5年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(国文化財4件)	4月7日付確定通知
3月22日	鶴岡市長	令和5年度補助金等実績報告書(鶴岡市国指定文化財管理費補助事業-国文化財4件)	4月7日付確定通知

#### 4.資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
4月1日～R6.3月31日	県立金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 17点
4月1日～R6.3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31件
4月1日～R6.3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点
4月1日～R6.3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展[最上川は語る]にハネバンドリ 1点
4月10日～6月30日	史跡旧致道館	展示資料として「酒井忠寛書 七言対句「幽渓」 1点
5月26日～R6.5月31日	鶴岡市北前船日本遺産推進協議会	鶴岡市・にかほ市・由利本荘市3市連携企画展【第2弾】に竹製望遠鏡・船箪笥他 計5点
6月12日～12月24日	岡崎市美術博物館他	NHK大河 ドラマ特別展「どうする家康」に国宝太刀銘信房作、同真光 重文色々威胴丸 他 8件
7月6日～8月30日	安城市歴史博物館	特別展「安城譜代 1 德川の支柱 酒井氏-左衛門尉家と雅楽頭家-」に御判物、黒塗交椅他 計25件
7月15日～9月30日	史跡藩校致道館	展示資料として白井重固筆「五言律詩 故国千年後…」1点
8月2日～12月12日	県立うきたむ風土記の丘考古資料館	第31回企画展「山形県内の指定文化財—考古資料—」に硬玉類(玉川遺跡出土) 1式
10月6日～9月20日	本間美術館	「徳川家と大名家の美」展に狩野秀信「徳川十六将図」、徳川慶喜「柘榴小禽図」書幅計2点
10月1日～12月27日	史跡旧致道館	展示資料として黒崎研堂筆「徂徠先生之聯句」 1点
12月12日～R6.10月中旬	市立藤沢周平記念館	企画展〈「獄医立花登手控え」の世界〉に薬研、乳鉢、計2点
12月12日～R6.12月12日	鶴岡アートフォーラム	「庄内の美術家たち19 漆芸と黒柿細工」展に紅葉模様六角盆・黒柿細工料紙箱 他 計7点

## 5.その他

月 日	主 な 事 項
4月12日	新発見「織田信雄書状」(鶴岡市郷土資料館寄託) 記者会見（「徳川家康と酒井忠次」展に出品）。
5月13日	ワークショップ「叩いて曲げてミニ兜をつくろう!!」おりがね工房 14名参加。
5月25日	山形県観光文化スポーツ部文化スポーツ振興課(2名)より令和4年度山形県博物館事業(展覧会事業)共催負担金の会計検査の実施。
6月3日	酒井家庄内入部400年記念事業NEXT100連携企画歴史講座「家康と忠次が生きた時代—危機を乗り越えた先に—」(平山優・柴裕之両氏による講演会、於:鶴岡市中央公民館)に協力。
7月24日	一筆地立会いについて(鶴岡市家中新町10番18他計14筆 山形地方法務局より隣接地の境界確認の件)。
7月25日	鶴岡中央高校インターンシップ(5名)受け入れ。
8月6日	「致道アカデミー・学芸員体験」実施 参加者9名。8/9、8/10も実施。
8月24日	重文旧渋谷家住宅の茅葺き屋根の差し茅作業始まる(8/29まで)。
9月9日	NHK大河ドラマ「どうする家康」の酒井忠次役の俳優・大森南朋氏来館。
10月6日	荘内大祭、雨天のため行列中止。夕方大人の休日俱楽部で、御隠殿にて夕食ツア。
10月7日	「刀剣乱舞ONLINE」とのコラボで、抹茶を提供(10月の土日限定)。
10月12日	高濃度P C B廃棄物の収集運搬の実施。
10月22日	刀匠藤原清人碑前祭(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催/旧鶴岡警察署庁舎ホールにて)。
10月28日	酒井家墓所特別公開。
11月10日	山形県文化財課による重文旧西田川郡役所・同旧鶴岡警察署庁舎を文化財パトロール。
11月30日	鶴岡信用金庫との連携協定締結式。
12月11日	致道博物館再始動プロジェクトのクラウドファンディングを開始(1月31日まで)。
12月27日	第1回防火訓練(避難・通報訓練) 11名参加。
1月1日	16:10に能登半島地震が発生。重文旧鶴岡警察署庁舎及び同旧西田川郡役所内の漆喰壁に亀裂が見られ、後日文化庁へ毀損届を提出。
1月11日	重文旧渋谷家住宅内にて冬期保存活動のため「火焚き」作業開始(3月16日まで)。
1月26日	第69回文化財防火デー・第2回防火訓練(総合訓練) 11名参加。
2月15日	友の会世話人会開催(旧鶴岡警察署庁舎ホールにて) 20名出席。
3月1日	旧西田川郡役所等の展示替え作業はじまる(4月16日まで)。

**資料－1 入館者数(月別)**

■致道博物館

(単位:名)

月	年度	一般			学生		小中学生	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会			
4月	5年度	1,718	470	313	161	35	85	45	2,827
	前年度	1,878	110	409	51	1	76	61	2,586
5月	5年度	3,634	581	470	124	52	509	77	5,447
	前年度	3,539	259	494	266	20	1,006	168	5,752
6月	5年度	2,247	501	401	64	65	85	54	3,417
	前年度	1,915	278	409	30	6	424	111	3,173
7月	5年度	1,932	424	337	48	6	55	46	2,848
	前年度	1,962	321	420	64	2	407	103	3,279
8月	5年度	2,654	392	372	199	7	266	93	3,983
	前年度	2,187	208	376	175	3	246	56	3,251
9月	5年度	2,865	311	465	320	8	212	144	4,325
	前年度	2,770	351	400	332	43	322	74	4,292
10月	5年度	4,546	626	437	240	9	418	56	6,332
	前年度	3,317	691	574	131	41	624	127	5,505
11月	5年度	2,493	853	321	134	43	469	136	4,449
	前年度	2,083	706	403	68	3	742	125	4,130
12月	5年度	547	74	120	42	3	78	23	887
	前年度	569	203	247	29	2	169	44	1,263
1月	5年度	368	0	162	13	1	29	4	577
	前年度	340	0	210	15	2	80	6	653
2月	5年度	874	34	280	75	3	49	24	1,339
	前年度	537	26	276	22	35	20	31	947
3月	5年度	1,782	110	631	126	8	112	165	2,934
	前年度	1,857	140	753	125	38	110	144	3,167
合計	5年度	25,660	4,376	4,309	1,546	240	2,367	867	39,365
	前年度	22,954	3,293	4,971	1,308	196	4,226	1,050	37,998

■松ヶ岡観覧施設

(単位:名)

月	年度	一般		学生	小中学生	招 待	合 計
		個人	団体				
4月	5年度	264	57	0	56	844	1,221
	前年度	285	20		26	65	396
5月	5年度	230	23	81	203	40	577
	前年度	370	65	0	222	20	677
6月	5年度	132	41	0	1	32	206
	前年度	215	22	11	135	33	416
7月	5年度	221	0	4	19	58	302
	前年度	232	103	13	6	33	387
8月	5年度	250	0	0	65	26	341
	前年度	204		2	30	6	242
9月	5年度	218	61	0	15	186	480
	前年度	333	113		7	13	466
10月	5年度	262	74	0	76	341	753
	前年度	314	100	0	43	43	500
11月	5年度	156	272	2	24	23	477
	前年度	229	51	0	183	27	490
12月	5年度	94	171	0	1	0	266
	前年度	60	29	0	0	7	96
1月	5年度	24	0	0	8	27	59
	前年度	26				2	28
2月	5年度	38	0	0	2	40	80
	前年度	28	58	0	2	32	120
3月	5年度	141	29	0	25	25	220
	前年度	82	414	0	7	4	507
合計	5年度	2,030	728	87	495	1,642	4,982
	前年度	2,378	975	26	661	285	4,325

**資料一 入館者数(月別)**

■庄内藩校 致道館

(単位:名)

月	年度	一般	学生	幼少中	合計
4月	5年度	1,672	27	89	1,788
	前年度	1,600	9	76	1,685
5月	5年度	2,300	23	379	2,702
	前年度	2,124	41	276	2,441
6月	5年度	1,690	32	111	1,833
	前年度	1,421	12	337	1,770
7月	5年度	1,473	34	77	1,584
	前年度	1,461	15	94	1,570
8月	5年度	1,801	138	221	2,160
	前年度	1,552	38	178	1,768
9月	5年度	2,277	100	93	2,470
	前年度	1,807	54	154	2,015
10月	5年度	2,410	65	207	2,682
	前年度	2,513	31	362	2,906
11月	5年度	1,696	31	306	2,033
	前年度	1,751	35	359	2,145
12月	5年度	591	18	58	667
	前年度	937	13	146	1,096
1月	5年度	325	11	26	362
	前年度	259	7	60	326
2月	5年度	858	57	65	980
	前年度	381	9	62	452
3月	5年度	1,107	31	69	1,207
	前年度	1,090	56	64	1,210
合計	5年度	18,200	567	1,701	20,468
	前年度	16,896	320	2,168	19,384

■大宝館

(単位:名)

月		一般	学生	幼少中	合計
4月	5年度	2,738	60	247	3,045
	前年度	2,361	30	152	2,543
5月	5年度	2,686	68	470	3,224
	前年度	2,436	180	269	2,885
6月	5年度	1,384	5	50	1,439
	前年度	1,191	11	61	1,263
7月	5年度	1,317	14	41	1,372
	前年度	1,231	14	45	1,290
8月	5年度	1,698	46	167	1,911
	前年度	1,395	23	242	1,660
9月	5年度	1,744	57	79	1,880
	前年度	1,591	108	85	1,784
10月	5年度	2,495	28	125	2,648
	前年度	2,130	33	284	2,447
11月	5年度	1,675	46	106	1,827
	前年度	1,376	23	46	1,445
12月	5年度	542	5	8	555
	前年度	672	16	9	697
1月	5年度	418	4	20	442
	前年度	221	1	7	229
2月	5年度	664	5	24	693
	前年度	393	5	10	408
3月	5年度	1,025	10	61	1,096
	前年度	1,072	20	82	1,174
合計	5年度	18,386	348	1,398	20,132
	前年度	16,069	464	1,292	17,825

資料－2 致道博物館 入館者総数

年度	大人	学生	年度合計
昭和25年（1950）	2,071	8,285	10,356
昭和26年（1951）	3,015	8,485	11,500
昭和27年（1952）	5,759	11,590	17,349
昭和28年（1953）	4,903	9,650	14,553
昭和29年（1954）	8,152	31,120	39,272
昭和30年（1955）	11,348	38,363	49,711
昭和31年（1956）	13,806	45,046	58,852
昭和32年（1957）	20,872	39,447	60,319
昭和33年（1958）	25,831	34,825	60,656
昭和34年（1959）	19,937	31,232	51,169
昭和35年（1960）	20,539	29,712	50,251
昭和36年（1961）	23,953	32,764	56,717
昭和37年（1962）	22,178	41,282	63,460
昭和38年（1963）	22,813	39,449	62,262
昭和39年（1964）	21,321	37,016	58,337
昭和40年（1965）	23,411	32,016	55,427
昭和41年（1966）	26,886	32,999	59,885
昭和42年（1967）	24,563	29,266	53,829
昭和43年（1968）	28,205	26,800	55,005
昭和44年（1969）	29,044	27,412	56,456
昭和45年（1970）	28,049	23,043	51,092
昭和46年（1971）	34,001	22,645	56,646
昭和47年（1972）	44,811	28,098	72,909
昭和48年（1973）	63,659	29,888	93,547
昭和49年（1974）	73,725	30,607	104,332
昭和50年（1975）	86,509	32,328	118,837
昭和51年（1976）	88,135	30,113	118,248
昭和52年（1977）	95,706	29,571	125,277
昭和53年（1978）	93,987	25,531	119,518
昭和54年（1979）	107,889	29,429	137,318
昭和55年（1980）	117,722	28,344	146,066
昭和56年（1981）	107,526	25,656	133,182
昭和57年（1982）	130,037	24,961	154,998
昭和58年（1983）	131,477	24,060	155,537
昭和59年（1984）	126,699	26,539	153,238
昭和60年（1985）	135,574	23,802	159,376
昭和61年（1986）	127,461	23,810	151,271
昭和62年（1987）	123,454	22,575	146,029
昭和63年（1988）	124,266	21,612	145,878

年度	大人	学生	年度合計
平成元年（1989）	133,415	19,662	153,077
平成2年（1990）	129,968	23,337	153,305
平成3年（1991）	132,502	20,541	153,043
平成4年（1992）	144,907	16,031	160,938
平成5年（1993）	139,841	15,437	155,278
平成6年（1994）	148,799	21,524	170,323
平成7年（1995）	137,810	12,269	150,079
平成8年（1996）	128,017	9,907	137,924
平成9年（1997）	111,874	9,177	121,051
平成10年（1998）	95,757	8,166	103,923
平成11年（1999）	94,071	6,701	100,772
平成12年（2000）	85,280	5,819	91,099
平成13年（2001）	85,185	6,051	91,236
平成14年（2002）	81,599	5,173	86,772
平成15年（2003）	80,043	5,887	85,930
平成16年（2004）	76,051	4,585	80,636
平成17年（2005）	64,682	4,490	69,172
平成18年（2006）	70,779	4,016	74,795
平成19年（2007）	69,941	4,538	74,479
平成20年（2008）	67,036	4,688	71,724
平成21年（2009）	64,518	4,423	68,941
平成22年（2010）	56,525	3,429	59,954
平成23年（2011）	42,758	4,421	47,179
平成24年（2012）	45,525	3,476	49,001
平成25年（2013）	39,145	3,065	42,210
平成26年（2014）	40,557	3,250	43,807
平成27年（2015）	36,373	3,420	39,793
平成28年（2016）	42,174	4,137	46,311
平成29年（2017）	45,676	4,914	50,590
平成30年（2018）	44,231	4,184	48,415
平成31年（2019）	45,590	4,148	49,738
令和2年（2020）	20,363	4,196	24,559
令和3年（2021）	19,828	7,814	27,642
令和4年（2022）	32,268	5,730	37,998
令和5年（2023）	35,212	4,153	39,365
総 計	4,887,594	1,362,130	6,249,724

\*1 昭和25年6月14日開館

\*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～翌年3/31

\*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～翌年3/31

\*3 平成6年度の事業期間は1/1～翌年3/31

\*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1～翌年3/31

\*5 新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/6～5/10臨時休館

### 資料－3 友の会会員数

(単位:名)

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助	東京友の会	学生会員	合 計
令和5年度	212	92	1,119	47	134	2,077	3,681
令和4年度	221	94	1,178	52	130	2,085	3,760
増 減	△ 9	△ 2	△ 59	△ 5	4	△ 8	△ 79

### 資料－4 HPアクセス数(月別)

令和5年度

	PV	ユニークPV
4月	14,313	6,158
5月	17,359	7,835
6月	11,854	4,863
7月	11,778	4,516
8月	14,198	5,668
9月	20,793	8,044
10月	28,271	11,060
11月	11,205	4,327
12月	9,094	4,271
1月	9,335	3,950
2月	10,398	4,301
3月	11,027	4,313
年間	169,625	69,306

※PV(ページビュー)=サイト訪問者が閲覧した全てのページ数の合計  
(同じ人物が何度もアクセス→その都度PV数としてカウントされる)

※U.PV(ユニークページビュー)=サイト訪問者が閲覧した回数やページ数にかかわらず、1カウント  
(何度もアクセスしても、1回のみしかカウントされない)

## 資料一5 主な新収蔵美術品

【寄贈】

No.	種類	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	員数	備考
1	絵画	作者不詳	合戦図絵巻	江戸時代	紙本・着色・巻子	1巻	
2	絵画	狩野了承	双鶴図		絹本・墨画着色・軸装	1幅	江戸時代後期の画人
3	絵画	林 文匡	大黒天図		紙本・墨画・軸装	1幅	江戸時代後期郷土の画人
4	絵画	岡本秋暉	花鳥図		紙本・着色・軸装	1幅	江戸時代後期の画人
5	絵画	阿部鶴峰	龍虎図		紙本・墨画・軸装	1幅	郷土の画人
6	絵画	市原円潭	甲子像(大黒天図)	文久4年(1864)	紙本・墨画・軸装	1幅	同 上
7	絵画	中台竹叢	墨竹図		紙本・墨画・軸装	1幅	同 上
8	絵画	中台竹叢	墨竹図		軸装・紙本・墨画	1幅	同 上
9	絵画	酒井忠宝	乗馬図(戯画)		紙本・着色・軸装	1幅	14代酒井家当主
10	絵画	酒井忠宝	萬歳図		紙本・着色・軸装	1幅	同 上
11	絵画	味方海山	梅に雀図		紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	新潟出身の画人
12	絵画	山岡米華	山水図	明治37年(1903)	紙本・墨画・軸装	1幅	近代の日本画家
13	絵画	小貫博堂	柳下釣人図		絹本・墨画・額装	1幅	東京出身の画人、美術教師
14	絵画	富樫景堂	山桜図		紙本・着色・軸装	1幅	鶴岡出身の日本画家
15	絵画	土屋竹雨	王院亭図		紙本・墨画・軸装	1幅	鶴岡出身・漢詩人
16	絵画	山田官造	磯釣図 自画贊(土屋竹雨の漢詩)		紙本・墨画着色・軸装	1幅	郷土の画人
17	絵画	山田官造	磯釣図 自画贊		紙本・着色・軸装	1幅	同 上
18	絵画	近岡善次郎	おひなさま		紙本・着色・額装	1点	新庄出身の日本画家
20	絵画	青葉山人可樂	弥水青山・東方朔	文久元年(1861)	絹本・墨画淡彩・軸装	3幅对	
21	絵画	酒井忠徳	大黒天図 贊酒井忠良	昭和19年(1944)	紙本・摺物・軸装	1幅	9代庄内藩主
22	書跡	三島通庸	和歌(扇面)「1835~1886		紙本・墨書・額装	1面	初代山形県令
23	書跡	酒井忠篤	三大字「事思敏」		軸装・紙本・墨書	1幅	13.15代庄内藩主
24	書跡	犬塚一瓢	五言絶句		軸装・紙本・墨書	1幅	郷土の漢学者
25	書跡	佐藤鐵太郎	伊藤裁縫研究會十周年記念為伊藤	大正11年(1922)	紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
26	書跡	馬淵華陽	四大字「世濟厥美/克忠克孝」	明治40年(1907)	紙本・墨書・軸装	1幅	府知事など政治家
27	書跡	久保村黄鶴	七言対句		紙本・墨書・軸装	1幅	鶴岡出身・漢詩人
28	書跡	加藤旭嶺	七言絶句「珠不…」		紙本・墨書・軸装	1幅	郷土の書家
29	書跡	松平穆堂	「戯題我堂」		紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
30	書跡	松平穆堂	七言詩「山水自…」		紙本・墨書・額装	1幅	同 上
31	書跡	松平穆堂	七言絶句「祝鶴岡北高等女學校五十周年」	昭和22年(1947)	紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
32	書跡	松平穆堂	「昭和三十二年三月十二日祝鶴岡北高校之卒業式」	昭和32年(1957)	紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
33	書跡	松平穆堂	七言絶句「祝鶴岡北高等学校六十周年」	昭和32年(1957)	紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
34	書跡	土屋竹雨	七言絶句「故国山水」		紙本・墨書・軸装	1幅	鶴岡出身・漢詩人
35	書跡	土屋竹雨	七言対句「百獸之王」		紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
36	書跡	酒井忠良	五言対句「鳥語有時序 松声に古今なし」	昭和32年(1957)	紙本・墨書・軸装	1幅	16代酒井家当主
37	書跡	酒井忠良	「五言対句 夏雲」	昭和32年(1957)	紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
38	書跡	酒井忠良	五言絶句「一望桃…」	昭和15年(1940)	紙本・墨書・額装	1幅	同 上
39	書跡	田中比多良	「若き日」贊:佐々木邦「青柳の妹若ありし学びの舎」	昭和5年(1930)	紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	
40	書跡	酒井忠明	五大字「萬顆玉生光」	昭和49年(1974)	紙本・墨書・額装	1面	17代酒井家当主
41	書跡	酒井忠明	四大字「竹聲松影」		紙本・墨書・額装	1幅	同 上
42	書跡	酒井忠明	七言一句「田家雪…」		紙本・墨書・額装	1幅	同 上
43	書跡	酒井忠明	五大字「桃花千衆春」	昭和57年(1982)	紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
44	書跡	酒井忠明	明治天皇御製心静延寿	昭和53年(1978)	紙本・墨書・軸装	1幅	同 上
45	書跡	酒井忠一	七言詩「朝看月山…」	平成4年(1992)	紙本・墨書・軸装	1幅	2代致道博物館長
46	書跡	酒井忠一	五言詩「洞庭湖…」	平成6年(1994)	紙本・墨書・軸装	1幅	同上
47	書跡	酒井忠治	「五大字 白兔寿千年」		紙本・墨書・軸装	1幅	元鶴岡書道会会长
48	書跡	堂雲(柱掛)	刻字 松平穆堂筆昭和天皇御製「廣き野を」		木・刻字・柱掛け	1枚	
49	工芸	兼松	脇指 銘 兼松作摺上 外装付	江戸時代	鎬造・庵棟	1口	
50	工芸	祐定	短刀 無銘(伝長船住祐定)	室町時代	平造・庵棟	1口	
51	工芸	藤原(固山)宗次	刀銘備前介藤原宗次/明治二年二月日	明治2年(1869)	鎬造・庵棟	1口	新々刀の代表的刀工
52	その他		雛人形	明治~昭和時代		1括	

絵画	21件
書跡	27件
工芸品他	4件
合計	52件